

科目名	日本史B	単位数	3	必修選択	選択
教科書	詳説日本史 改訂版(山川出版社) 地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー(帝国書院)				
副教材	新詳日本史(浜島書店) 日本史 重要語句 Check List(啓隆社) 要点整理 ゼミナール日本史(浜島書店)				

教科・科目の内容

中学校の社会科「歴史的分野」で習った内容を、日本を中心にさらに深めていく授業です。この授業では、原始古代からの我が国の歴史の展開を考察していきます。授業ではさまざまな資料を用いながら、出来事の背景や影響について考察していきます。歴史的事象(用語)を記憶していくことは最低限必要なことですが、それだけでは不十分です。前後の時代、同時代の事象と関連づけて、相互の影響を考察し、歴史的意義を理解できるようにしていくことが求められます。

日常生活や将来とのつながり

人間はおかれた環境の中で創意工夫を重ねながら生き抜いてきました。日本の歴史を振り返ると、その時代の自然環境や社会環境のさまざまな制約と向き合いながら、政治、経済、日常生活を営んできています。これを史料から探ります。

歴史という学問は単に古い出来事や人物の事績を追い求めるものだけのものではありません。歴史を学ぶことで、歴史観を形成し、適切な判断力や決断力を身に付けることがねらいです。「私たちはいかに明日を生きるのか」ということに深く関わる学問であるといえます。また、過去の日本を世界の中で位置づけることで、国際社会で主体的に生きる資質を身に付けていきます。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

授業に意欲的に取り組み、授業ノート(プリント)をもとに、自分で整理し、まとめ直すことで内容をよりしっかりと理解できるようになります。まとめ方としては、1つのテーマごとに大きな歴史の流れをつかむことが大事です。そのためには単元ごとのテーマに沿った課題を文章でまとめたり、歴史マンガなどで流れを記憶したりと、様々な方法があります。単に言葉の暗記だけをするのではなく、歴史という大きな流れの中で、「なぜそうなったのか」を想像しながら、流れの変化を論理的に理解することが大切です。

到達目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(活動状況・ワークシート・ノート)

我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

② 思考・判断(活動状況・ワークシート・定期試験)

我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断する。

③ 資料活用の技能・表現(活動状況・ワークシート・定期試験)

我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。

④ 知識・理解(小テスト・定期試験)

我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身につけている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2年	日本史B	3	詳説日本史 改訂版(山川出版社) 地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー(帝国書院)	新詳日本史(浜島書店) 日本史 重要語句 Check List(啓隆社) 要点整理 ゼミナール日本史(浜島書店)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	第1章 日本文化のあけぼの	<ul style="list-style-type: none"> 旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代の社会について理解する。 東アジア世界との交流に着目して、古代国家の展開と律令体制確立の過程を理解する。 	○	○	○	○
	第2章 律令国家の形成					
	※ 中間試験		○	○	○	○
	第2章 律令国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア世界との交流に着目して、古代国家の展開と律令体制確立の過程を理解する。 荘園公領の動きや武士の台頭に着目して古代国家の推移と中世社会の萌芽について理解する。 	○	○	○	○
第3章 貴族政治と国風文化						
	※ 期末試験		○	○	○	○
二学期	第4章 中世社会の成立	<ul style="list-style-type: none"> 武士の土地支配と公武関係、大陸との関わりに着目して武家政権の形成過程と鎌倉文化について理解する。 南北朝から室町時代の日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との交流、下剋上など中世社会の多様な展開について理解する。 	○	○	○	○
	第5章 武家社会の成長					
	※ 中間試験		○	○	○	○
	第5章 武家社会の成長	<ul style="list-style-type: none"> 南北朝から室町時代の日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との交流、下剋上など中世社会の多様な展開について理解する。 ヨーロッパ世界との接触とその影響、支配体制と儒学の役割に着目して織豊政権の確立を理解する。 	○	○	○	○
第6章 幕藩体制の確立						
	※ 期末試験		○	○	○	○
三学期	第6章 幕藩体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ世界との接触とその影響、支配体制と儒学の役割に着目して幕藩体制の確立を理解する。 幕藩体制下での経済・交通・技術の発展、都市の繁栄に着目して、江戸時代の生活文化を理解する。 問題演習等により、これまで学んだ単元についての復習、次年度の近現代史を学ぶ準備をする。 	○	○	○	○
	第7章 幕藩体制の展開					
	まとめ					
	※ 学年末試験		○	○	○	○

備考	授業の様子を見て進度を調整するため、年間計画も各学期で見直しをします。
----	-------------------------------------